

Cyber-shot

サイバーショット取扱説明書
はじめにお読みください

本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

「活用編・困ったときは」の3ページと108ページから110ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。ご使用の前によくお読みください。

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

2-656-791-02 (1)

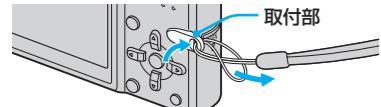


この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。

付属品の確認をしてください	
万一、不足の場合はお買い上げ後にご相談ください。	● バッテリーチャージャー BC-CS3 (1)
● リチャージャブルバッテリーパック NP-FT1 (1) / バッテリーケース (1)	● マルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル (1)
● サイバーショットアプリケーションソフトウェア (1)	● リストラップ (1)
● サイバーショット取扱説明書 (はじめにお読みください) (本書) (1)	● サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは (1)
● サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは (1)	● メモリースティック デュオ (1)
● 保証書 (1)	● リチウムイオン電池 (1)

ご注意

- はじめてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FT1 を充電してください。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に高精度の技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストラップを取り付けてご使用ください。

■ サイバーショット
オフィシャルWEBサイト

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

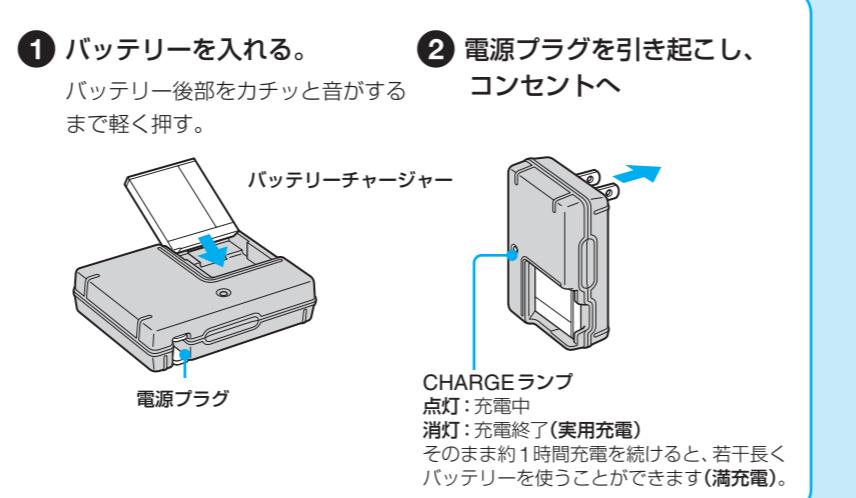
■ 使用上での不明な点や技術的な
ご質問

テクニカルインフォメーションセンター

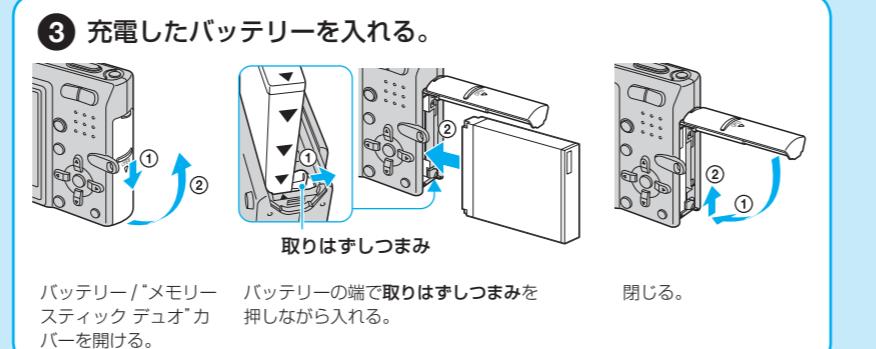
電話: 0564-62-4979
(おかげ間違いにご注意ください。)

受付時間:
月～金曜日: 午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日: 午前9時～午後5時

1 バッテリーを準備する

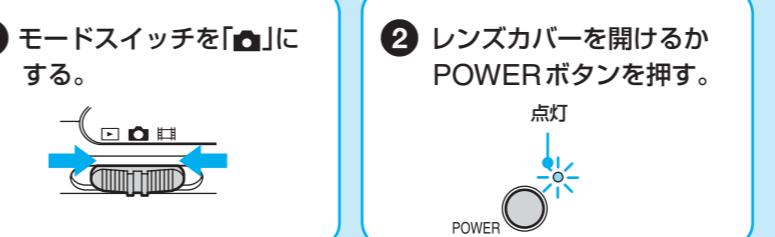


- バッテリーチャージャーは、お手軽なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 付属のバッテリーを使い切ってから、温度25°Cでの満充電時間は約220分、実用充電時間は約160分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

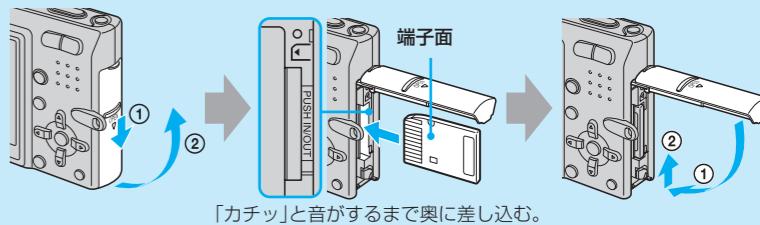


- 充電したバッテリーを入れる。

2 電源を入れ、時計を合わせる

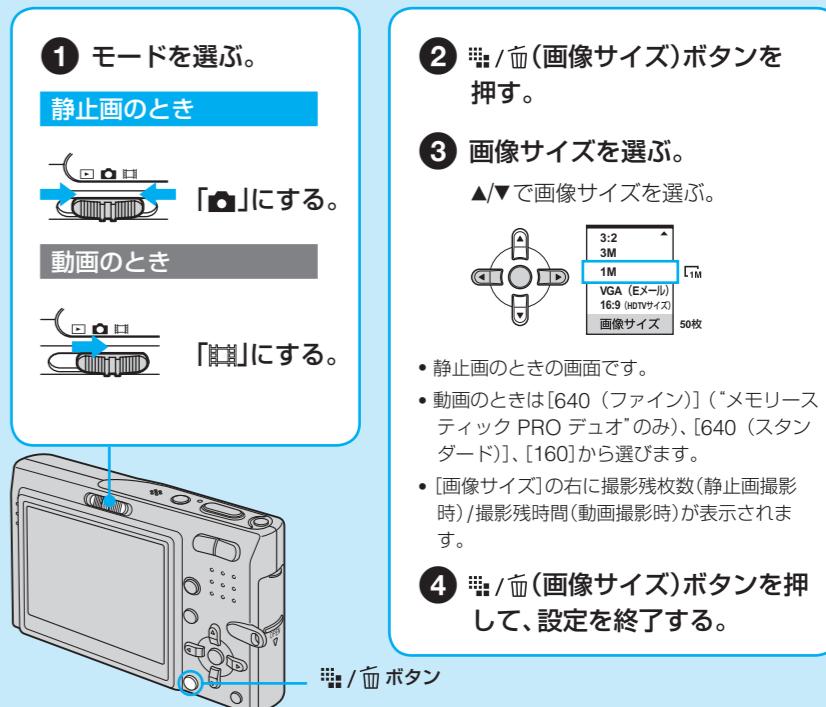


3 メモリースティック デュオ(別売り)を入れる



「メモリースティック デュオ」が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー (58MB) に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」22ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

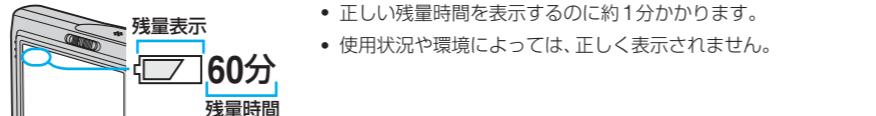


コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→別冊「活用編・困ったときは」15ページ。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの残量を確認するときは

レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。



バッテリーを取り出すときは

バッテリー / 「メモリースティック デュオ」カバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの端に指をかけて取り出してください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向かうようにご注意ください。



海外で使うときは

バッテリーチャージャー (付属) やACアダプター AC-LS5K (別売り) は全世界 (AC100V ~ 240V・50/60Hz) で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器 (トラベルコンバーター) は故障の原因となるので使わないでください。

コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

時計合わせをやり直すときは

■(セットアップ)メニュー画面で「時計設定」を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」47、58ページ

時刻表示について

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。
- 手順③-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。

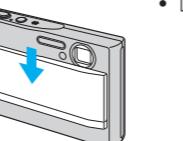
電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れたたびに時計設定画面が表示されます。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



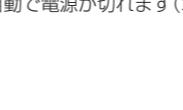
レンズカバーを開けるときは

- レンズに触れないようご注意ください。



電源を切るときは

- レンズカバーを閉めるか、POWERボタンを再び押す。
- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。



静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」12ページ
お買い上げ時の設定は△で示しています。

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
6M (2816 × 2112)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2* (2816 × 1872)	写真のL判でプリントする場合		
3M (2048 × 1536)	より多くの画像を撮影する場合		
1M (1280 × 960)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合	多い	粗い
VGA (Eメール) (640 × 480)	ワイヤレスメールへの画像添付やホームページ作成用の場合		
16:9 (HDTVサイズ)** (1920 × 1080)	ワイドテレビやハイビジョン対応テレビで見る場合***		

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

** プリント時に両端が切れことがあります。→別冊「活用編・困ったときは」93ページ

*** 「メモリースティック」スロットやUSB経由で接続すれば、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ

静止画のとき 撮影可能枚数	動画のとき 最大記録可能時間
196	00:01:27

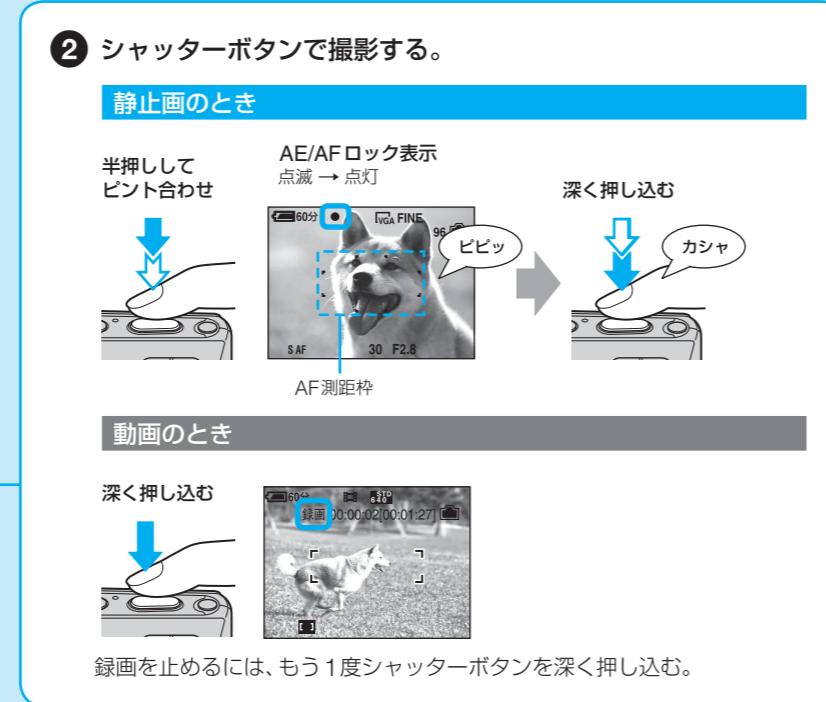
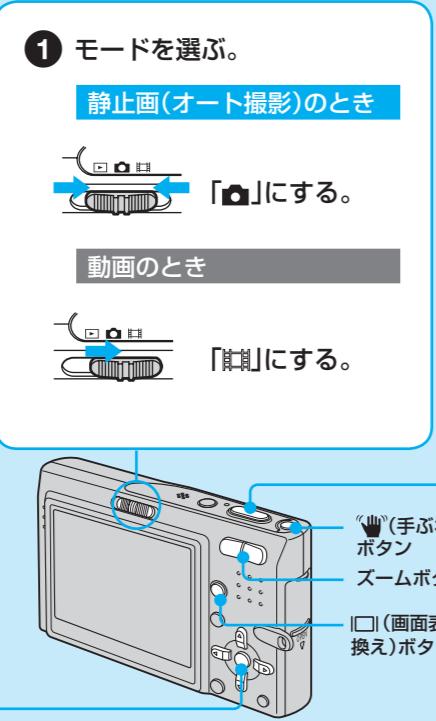
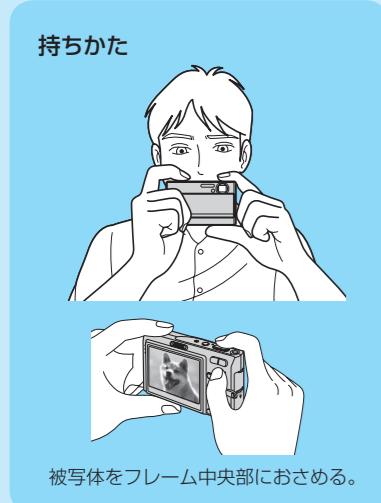
・撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

「メモリースティック デュオ」を取り出すときは	アクセスランプ
バッテリー / 「メモリースティック デュオ」カバーを開け、「メモリースティック デュオ」を1回押す。	

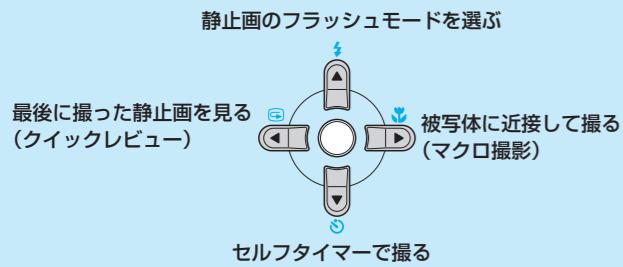
アクセスランプ点灯中は

絶対にバッテリーや「メモリースティック デュオ」を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

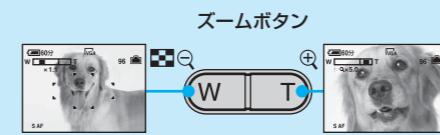
5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



ズームするには



- 最後に撮った静止画を見る(クリックレビュー)
- 被写体に近接して撮る(マクロ撮影)
- セルフタイマーで撮る
- 静止画の倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
- [デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」48ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

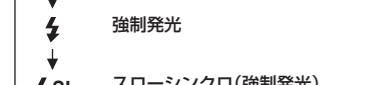
最後に撮った静止画を見る(クリックレビュー)



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、ボタンを押す。やめるには、もう一度を押す。



- 静止画のフラッシュモードを選ぶ



- 表示なし
- 光量不足と判断したとき発光(お買い上げ時の設定)
- 強制発光
- スローシンクロ(強制発光)
- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない風景も明るく撮影。
- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.1~2.8m
T側: 約0.25~2.3m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、が表示されます。

- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

- コントロールボタンのを押す。やめるには、もう一度を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、ボタンを押す。やめるには、もう一度を押す。

- 静止画のピントがうまく合わないときは
- 被写体まで、約50cm以上距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビビッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

- ピントが合いくらいの被写体:
- 被写体が遠くで暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

- 近接(マクロ)撮影よりも近距離で撮影したい場合は、シーンセレクションの (拡大鏡モード)をご使用ください。

- レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいのとき: 約8cm
T側いっぱいのとき: 約25cm

- セルフタイマーで撮る

- 手順②の前に、コントロールボタンのを押す。押すごとに、設定が変わります。

- やめるには、もう一度を押す。

- 表示なし

- 強制発光

- スローシンクロ(強制発光)

- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない風景も明るく撮影。

- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.1~2.8m
T側: 約0.25~2.3m

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

- フラッシュを充電している間、が表示されます。

- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビビッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いくらいの被写体:

- 被写体が遠くで暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体

画面を明るくするには

- 屋外などの明るい場所で画面が見えにくいときは、液晶画面のバックライトを明るくする、便利です。

- (画面表示切り替え)ボタン(上図)を押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り替わります。

- バックライト明るさアップ → ヒストグラム表示オン → 画面表示オフ → 画面表示オン

詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」20ページ

手ぶれ補正について

本機には手ぶれ補正機能が付いています。

- 解除するときは、メニューの (カメラ)を[オート]以外にして(右記)、 (手ぶれ補正)ボタン(上図)を押し、を画面に表示させる。オンにするには、もう一度 (手ぶれ補正)ボタンを押す。

- (カメラ)が[オート]のときは解除できません。

- 手ぶれ補正モードを変えることもできます。→別冊「活用編・困ったときは」51ページ

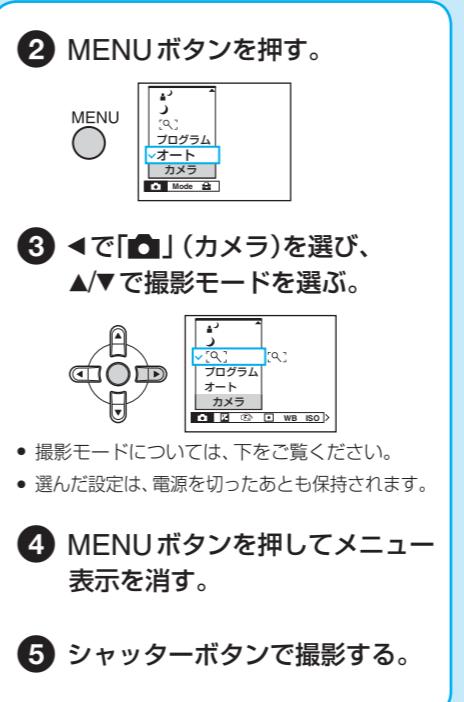
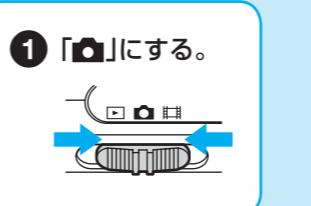
画面の表示について

→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

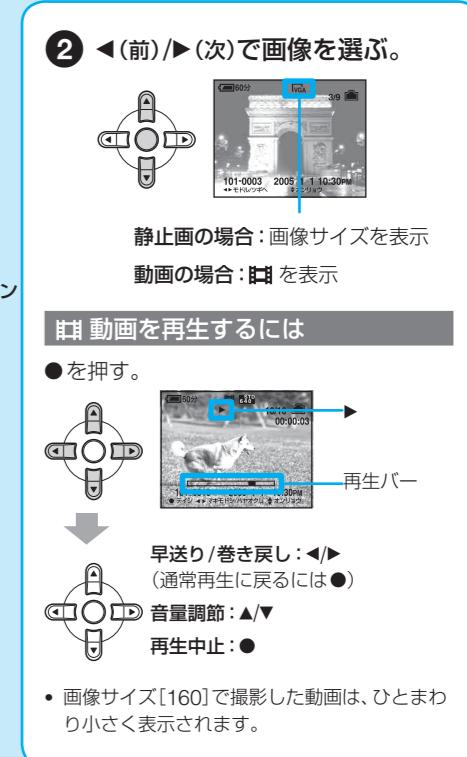
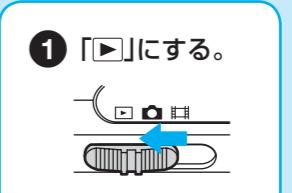
場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)



シーンセレクションを解除するには

で[オート]または[プログラム]を選ぶ。

画像を見る/削除する



画像を削除するには

- 削除したい画像を表示してボタンを押す。
- で[削除]を選び、●を押す。

削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(再生ズーム)

- 静止画を再生中にボタンを押すと、ズームできる。ボタンで戻る。

- ズーム位置変更:

- ズーム中止:

- 拡大した画像を保存するには:[トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」46ページ

連続再生するには(スライドショー)

- 静止画を再生中に (スライドショー)ボタンを押す。もう一度押すと、終了する。

- BGMなどを変更できます。その他の操作や各種設定を変更するには:
→別冊「活用編・困ったときは」27ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

- (インデックス)ボタンを押し、で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。を押し続けると、次の画面に移る。



もう一度押すと
16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中にボタンを押し、コントロールボタンので[選択]を選び、●を押す。
- 削除したい画像をで選び、●を押してマークを付ける。



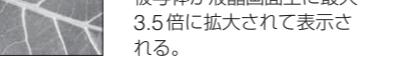
3 ボタンを押す。

4 で[実行]を選び、●を押す。

- 削除したい画像を選んで●を押し、マークを消す。
- 绿色の選択枠
- 削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、マークを消す。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。



拡大鏡モード

被写体が液晶画面上に最大3.5倍に拡大されて表示される。

ソフトナップモード

人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。

風景モード

遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。

高速シャッターモード

明るい場所で、動きのある被写体を撮る。

ビーチモード

海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。

スノーモード

白い風景を明るく撮る。

夜景モード*

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。

夜景&人物モード*

夜景をバックに、手前の人物を撮る。

キャンドルモード*

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順⑤で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。

使えない機能のボタンを押すと、ビビビと音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」26ページ。